



ファインテクノロジーで未来を拓く

NaigaiTEC 内外テック株式会社

JASDAQ・コード3374

2013年3月期 第2四半期決算説明会

2012年11月29日

2013年3月期 第2四半期決算概況

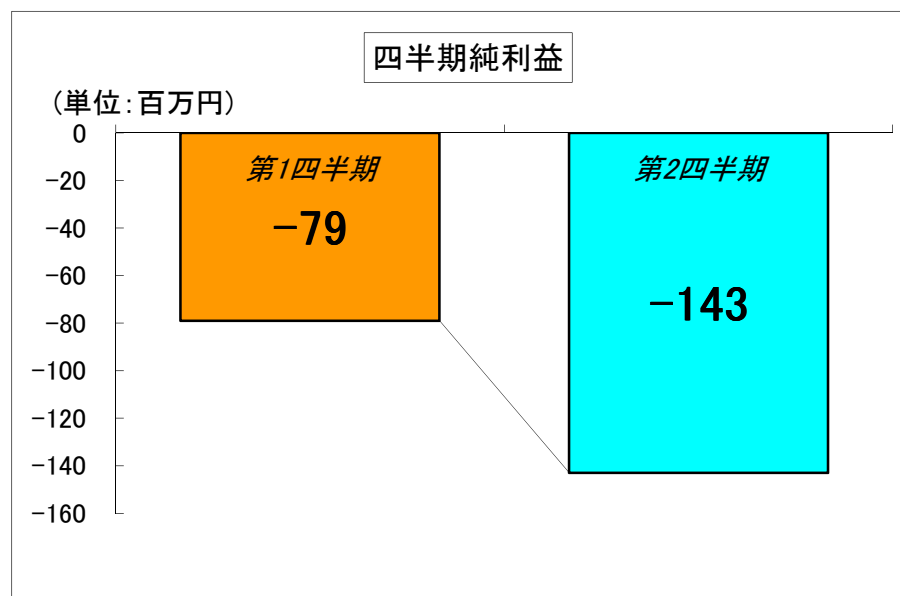
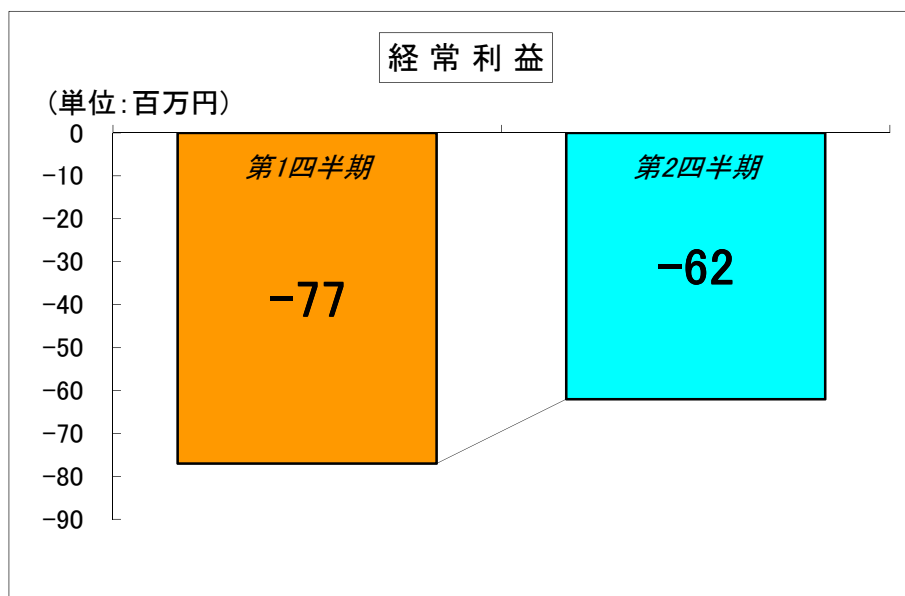
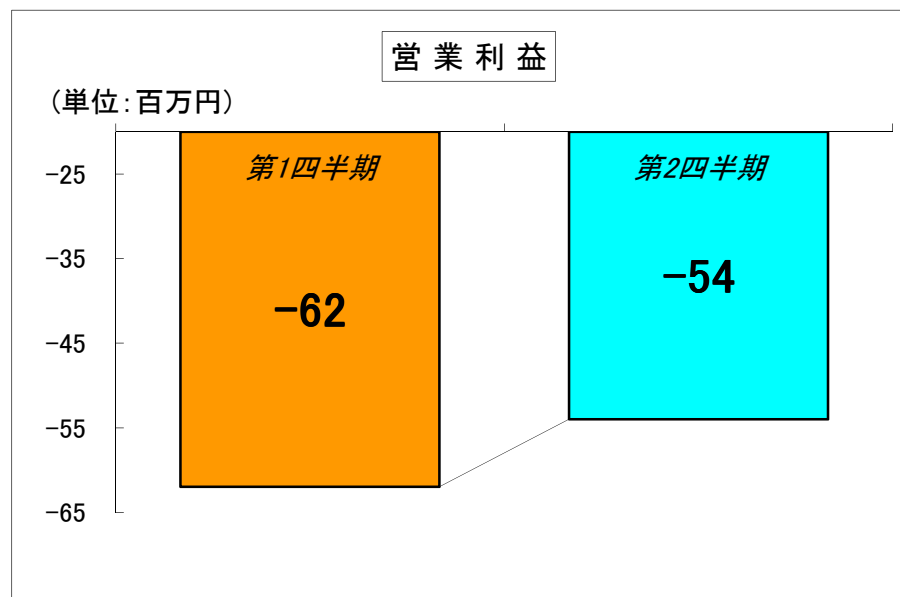
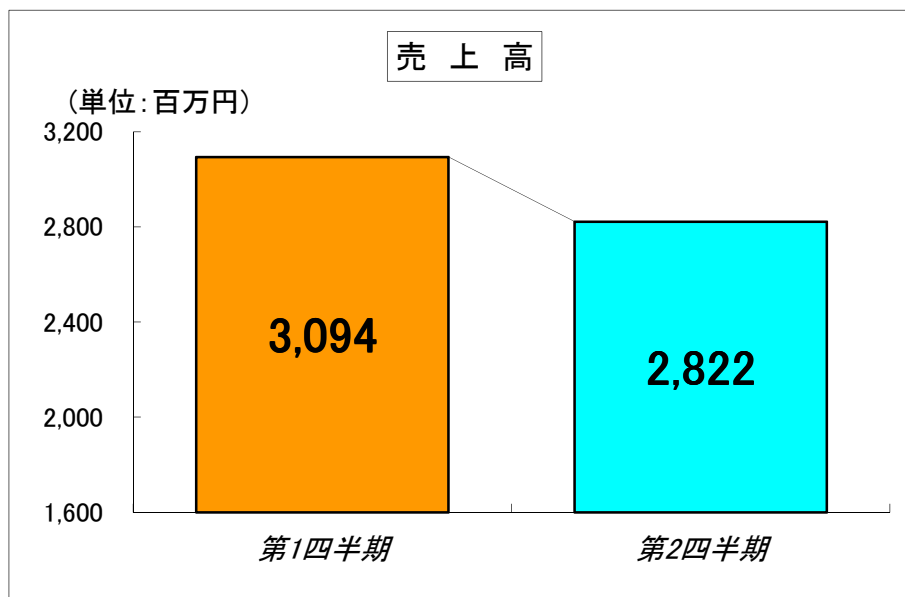
1. 連結 2013年3月期 第2四半期 累計 の概況

単位:百万円

連 結	2012/3月期		2013/3月期		2013/3月期		前年同期比	対予想比
	第2四半期 累計(実績)		第2四半期 累計(5/14発表予想)		第2四半期累計 (実績)			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
売 上 高	8,716	100.0%	7,250	100.0%	5,917	100.0%	-32.1%	-18.4%
販 売 事 業	8,194	94.0%	6,736	92.9%	5,497	92.9%	-32.9%	-18.4%
受託製造事業	521	6.0%	514	7.1%	419	7.1%	-19.6%	-18.5%
売 上 原 価	7,832	89.9%	6,482	89.4%	5,353	90.5%	-31.7%	-17.4%
売 上 総 利 益	883	10.1%	768	10.6%	564	9.5%	-36.1%	-26.6%
販売費及び一般管理費	731	8.4%	764	10.5%	681	11.5%	-6.9%	-10.9%
営 業 利 益	152	1.7%	4	0.1%	-116	-2.0%	-	-
経 常 利 益	134	1.5%	-14	-0.2%	-140	-2.4%	-	-
特 別 損 益	-0	-0.0%	-	-	-	-	-	-
四 半 期 純 利 益	129	1.5%	-20	-0.3%	-222	-3.8%	-	-

売 上 高	半導体製造装置メーカー等からの受注減少
売 上 総 利 益	コストダウン要請により利益率低下
営 業 利 益	売上高減少による損失
経 常 利 益	営業外収益の減少と有利子負債等の増加による営業外費用の増加
四 半 期 純 利 益	繰延税金資産78百万円取崩

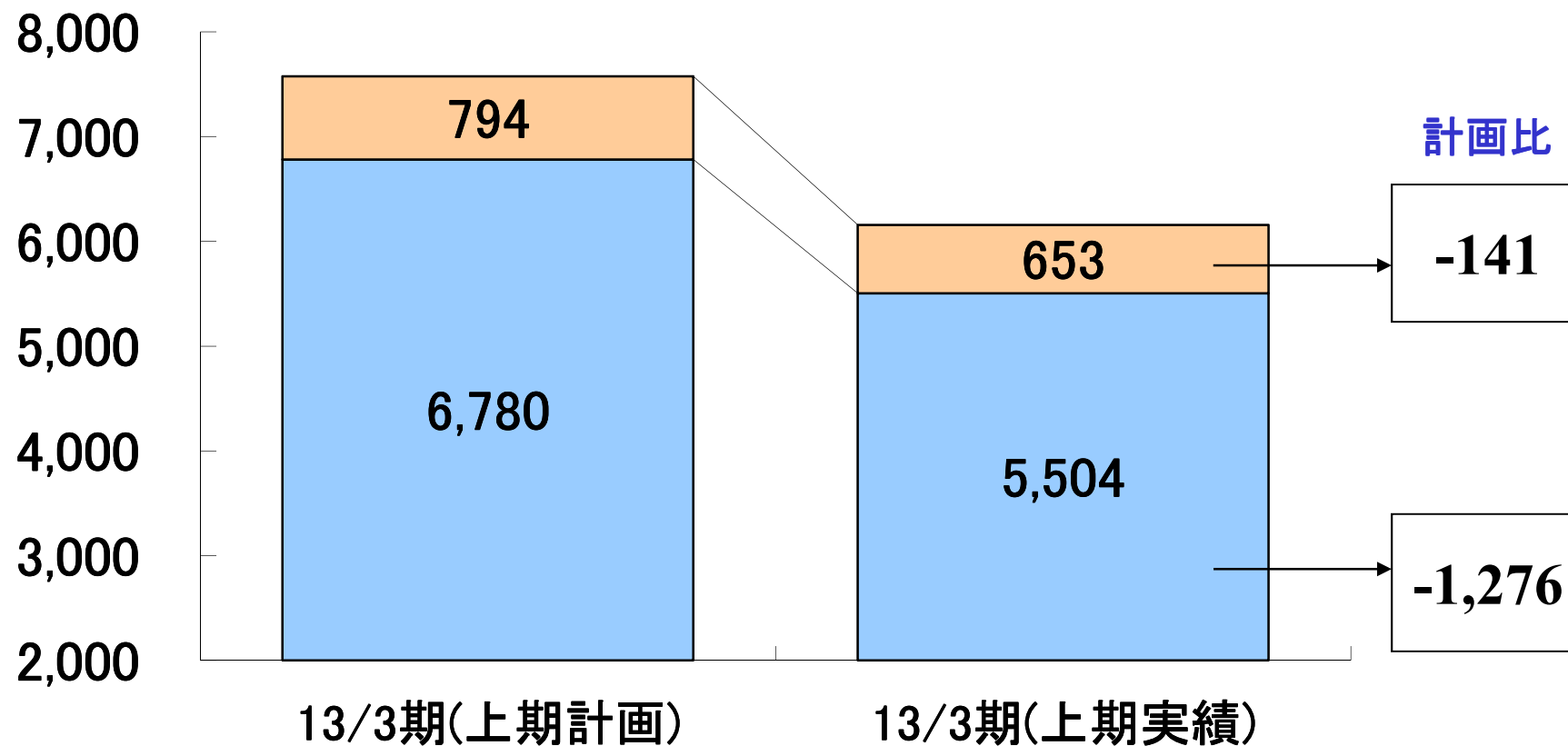
2. 連結 2013年3月期 四半期比較(1Q>2Q)



3. 上期 セグメント別売上高 計画比

受託製造事業
 販売事業

(単位:百万円)

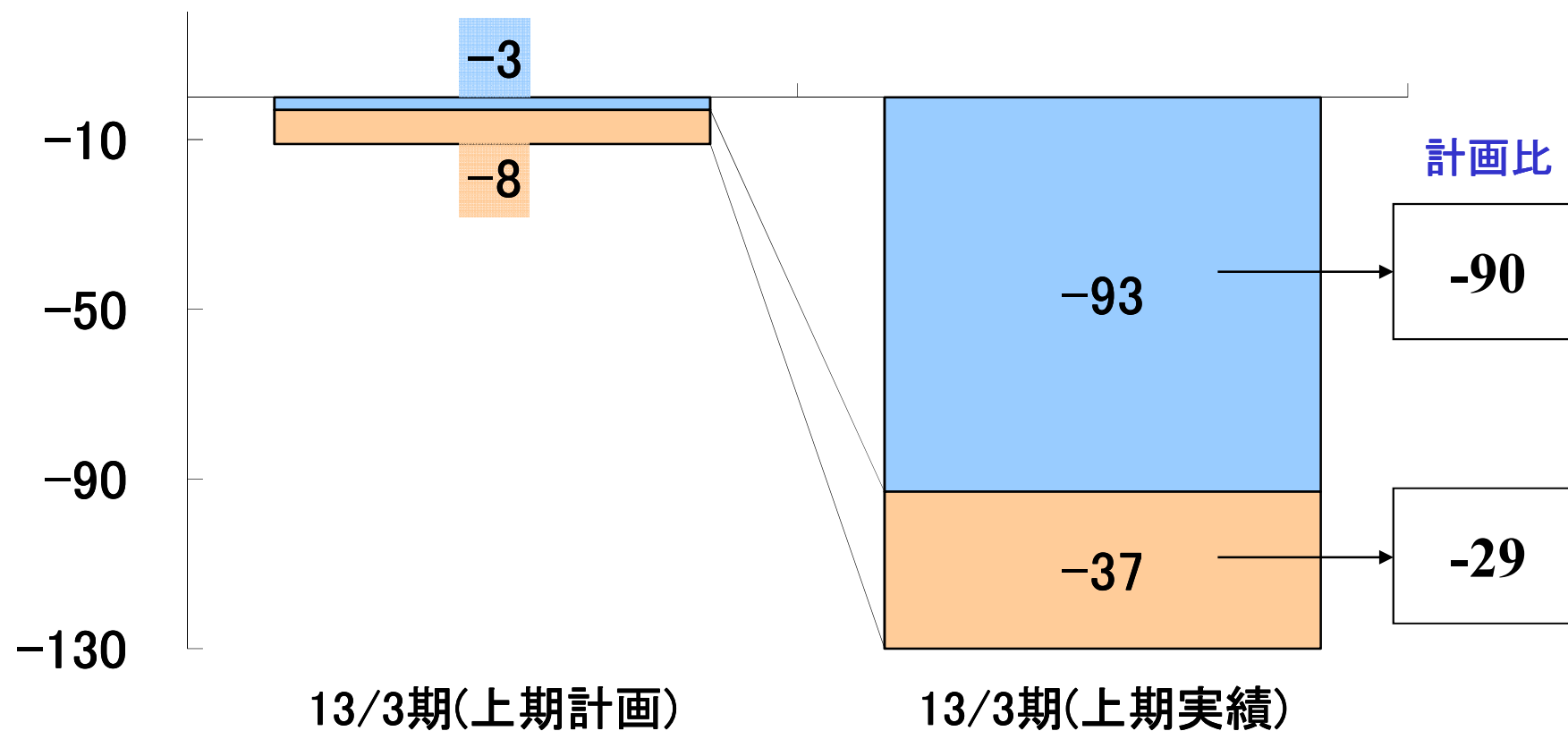


注) 連結単純合算よりセグメント内取引を消去した内容で表示しております。

4. 上期 セグメント別営業利益 計画比

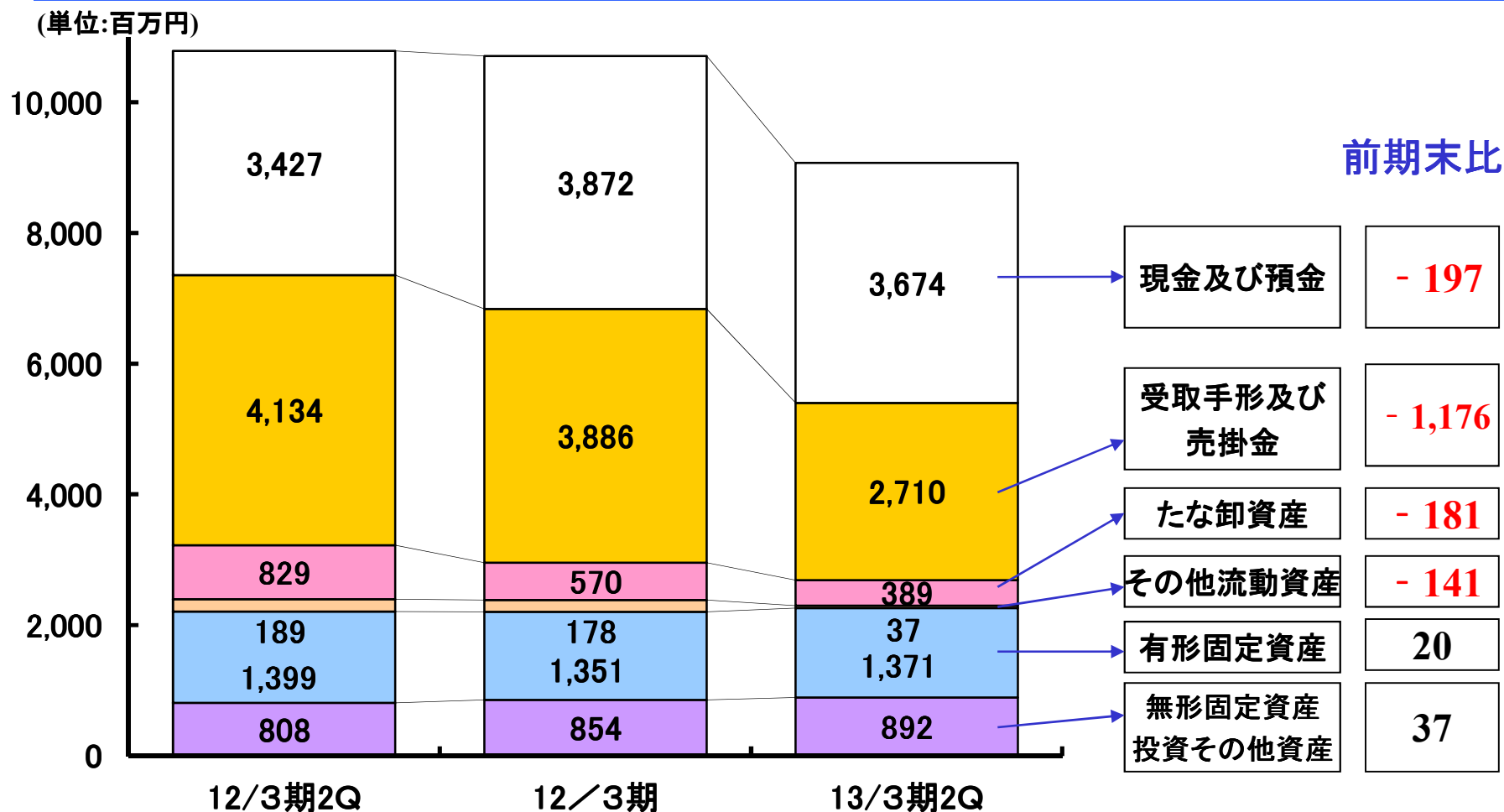
受託製造事業
 販売事業

(単位:百万円)



注) 連結単純合算よりセグメント内取引を消去した内容で表示しております。

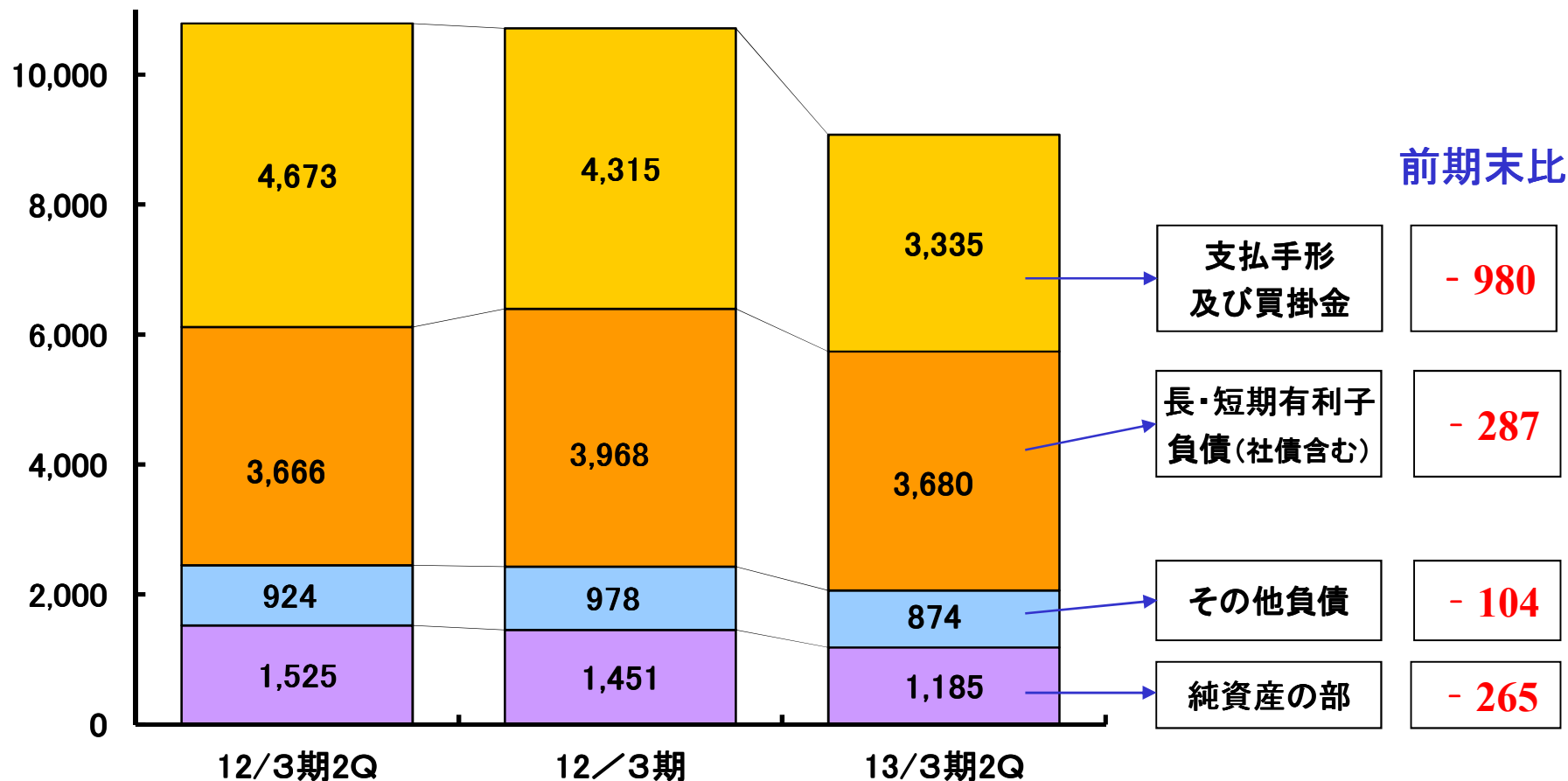
5. 連結 資産の部推移



現金及び預金	-197	売上高の減少
受取手形及び売掛金	-1,176	売上高減少による債権の減少
たな卸資産	-181	商品(-179)、原材料(-3)、仕掛品(+2)
その他流動資産	-141	前払費用(+13)、繰延税金資産(-71)、未収入金(-83)
有形固定資産	+20	固定資産の取得(+40)、減価償却費(-20)
無形固定資産・投資その他資産	+37	リース資産(-3)、投資有価証券(-22)、差入保証金(+28)、長期性預金(+36)

6. 連結 負債・純資産の部推移

(単位:百万円)



項目	12/3期2Q	12/3期	13/3期2Q
支払手形及び買掛金	-980	売上高及び受注の減少	
長・短期有利子負債(社債含む)	-287	長期借入金調達(+350)、長・短期借入金返済(-526)、社債償還(-111)	
その他負債	-104	未払金(-14)、未払費用(-20)、未払法人税等(-4) 未払消費税(-30)、賞与引当金(-23) 退職給付引当金(-7)、リース債務(-5)	
純資産の部	-265	利益剰余金(-246)、有価証券評価差額金(-19)	

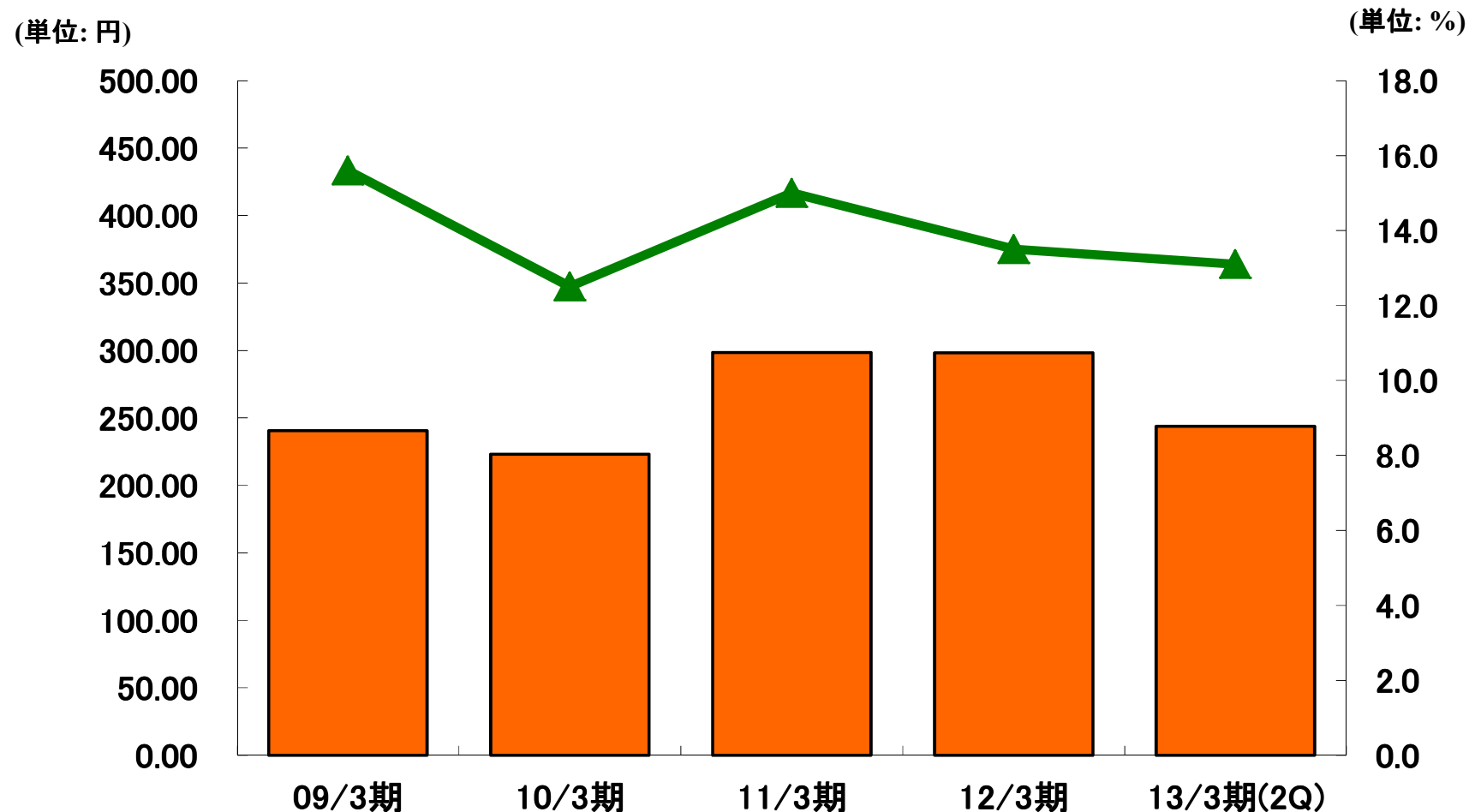
7. 連結 財務分析(キャッシュ・フロー)

単位:百万円

連結キャッシュ・フロー	2012/ 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計	2013/ 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計	12/3 期末(参考)
営業活動によるキャッシュ・フロー	106	225	291
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	133	△ 140	143
減価償却費	24	24	50
売上債権・たな卸資産・仕入債務の増減	△ 90	376	57
その他	39	△ 35	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 31	△ 128	△ 21
投資有価証券の取得・売却	△ 1	△ 1	△ 2
固定資産等の取得・売却	△ 7	△ 39	△ 7
その他	△ 22	△ 87	△ 10
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,008	△ 318	1,304
有利子負債の増減	1,057	△ 293	1,362
配当金	△ 48	△ 24	△ 48
その他	-	△ 0	△ 8
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 1	0
現金及び現金同等物の増減額(減少: △)	1,083	△ 222	1,574
現金及び現金同等物の期首残高	1,869	3,444	1,869
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,953	3,222	3,444

営業活動の結果から得られた2億25百万円の資金は、主に売上債権及びたな卸資産の減少額13億57百万円の増加要因による。

8. 主な経営指標の推移(連結)



連結		09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期(2Q)
	一株当たり純資産(円)	240.56	223.05	298.54	298.36	243.80
	自己資本比率(%)	15.6	12.5	15.0	13.5	13.1

2013年3月期の予想と 市場動向

9. 連結 2013年3月期の予想

単位:百万円

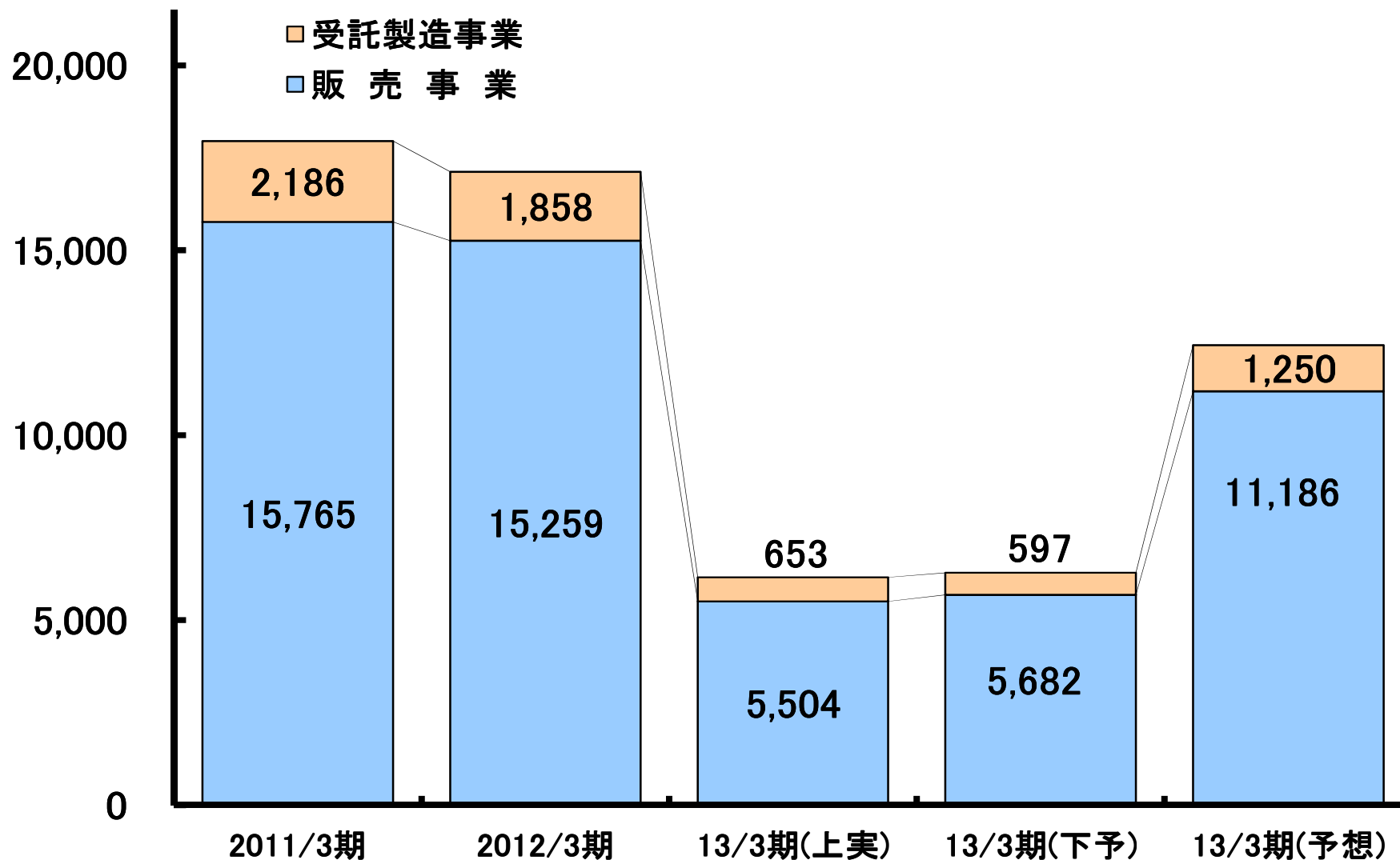
連 結	2012/3月期	2013/3月期 (予想)			前年同期比
	実績	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	
売 上 高	16,195	5,917	6,032	11,950	-26.2%
販 売 事 業	15,237	5,497	5,675	11,173	-26.7%
受 託 製 造 事 業	958	419	357	776	-19.0%
売 上 原 価	14,510	5,353	5,432	10,786	-25.7%
売 上 総 利 益	1,685	564	599	1,164	-30.9%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,467	681	672	1,354	-7.7%
営 業 利 益	218	-116	-73	-190	-
経 常 利 益	170	-140	-87	-228	-
特 別 損 益	-26	-	-	-	-
当 期 純 利 益	44	-222	-87	-310	-
1株当たり四半期(当期)純利益(単位:円)	9.14	-45.72	-18.01	-63.73	

<2013年3月期の見通し>

- ・ 下期売上高は、景気の不透明感等により引き続き厳しい状況で推移
- ・ 役員報酬の減額など、経費削減対策の実施

10. セグメント別売上高推移と予想

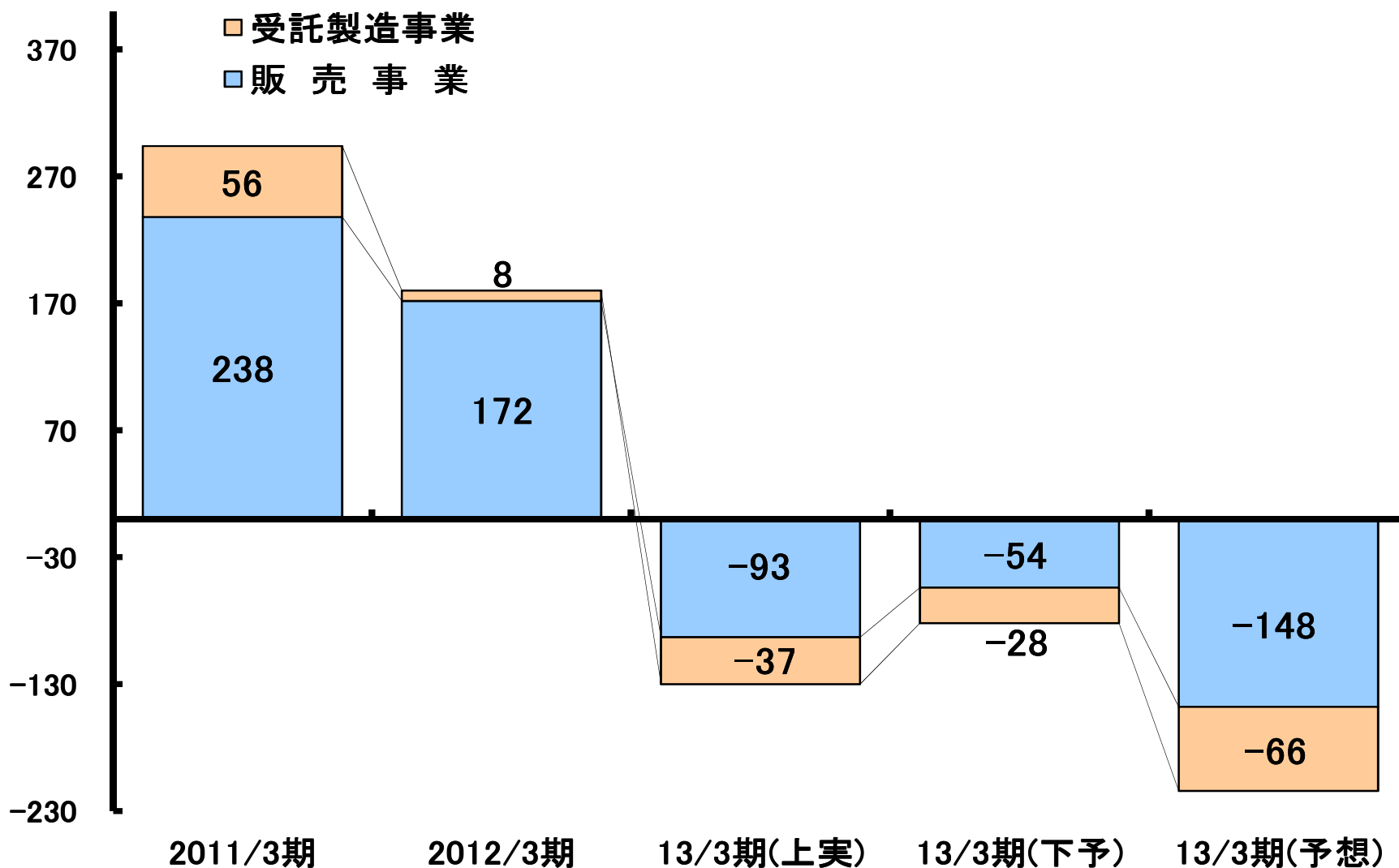
(単位:百万円)



注) 連結単純合算よりセグメント内取引を消去した内容で表示しております。

11. セグメント別営業利益推移と予想

(単位:百万円)



注) 連結単純合算よりセグメント内取引を消去した内容で表示しております。

12. 2012年度の市場動向及び対応

2012年5月29日 決算説明会

1. 半導体製造装置市場については下期回復期待
 - ・ Q1を底に、下期回復を見込む
 - ・ 前工程装置分野は前期並み
 - ・ 検査装置関連は大幅な落ち込み
2. 液晶・太陽電池関連装置の回復は来期以降
 - ・ 液晶装置分野はQ4以降復活を見込む
 - ・ 太陽電池関連は今期不透明
3. 営業・製造活動については
 - ・ 上期 営業部門 集中的に海外対応
(拠点・顧客・新規商材)
 - 製造部門 12年度下期以降の新規受注分野の対応
 - ・ 下期 営業部門 WEB(EC)販売への本格取組み
 - 製造部門 環境・医療分野への参入準備

2012年11月29日 中間決算説明会

1. 半導体製造装置市場については今期回復せず
 - ・ 全体的な回復は来期以降
 - ・ 前工程装置分野の回復は来期Q2期待
 - ・ 検査装置関連の開発案件は来期業績寄与
2. 液晶・太陽電池関連装置の回復は不透明
 - ・ 液晶装置分野はQ4以降生産準備開始
来期Q2より本格生産期待
 - ・ 太陽電池関連は今期設備商談見込めず
3. 営業・製造活動については方針変わらず
 - ・ 上期 営業部門 集中的に海外対応
(特に韓国)
 - 製造部門 新規開発案件の対応
医療機器製造認可取得
 - ・ 下期 営業部門 海外対応継続
(特にアセアン地域)
 - WEB(EC)販売への
テスト マーケティング
 - 製造部門 開発案件対応
(半導体関連・医療関連)

13. 海外展開

1. 内外機材上海のIPO(インターナショナル・パーチェシング・オフィス)としての本格稼働開始

- ・ 中国メーカー(商材)開拓については、上期2社、通期では15社の開拓を目指す

2. 内外テック韓国の設立と、韓国市場拡販の開始

- ・ 韓国市場の開拓については、顧客開拓は目標達成、今後の一層の拡大を図る
- ・ 韓国メーカー(商材)の開拓については、25社を評価、内13社を日本市場に投入開始

3. 東南アジア地区におけるアライアンス先の開拓(タイ・マレーシア・インドネシア・フィリピン等)

- ・ 東南アジアの顧客開拓については、一定の成果が出つつある
- ・ 装置メンテナンスは、マレーシアにて、アライアンス先と連携実績、今後のメンテナンス機種及び地域の拡大に注力

4. 2012年度下期についても積極取組み

- ・ 韓国体制確立、中国は下期拡大凍結、東南アジア開拓は積極展開
- ・ 初期投資負担あるも、海外開拓の手を緩めず2年以内に海外比率20%達成を目指す

14. 新規商材投入と新しい仕組み

1. 新規輸入商材のBRAND化

- ・ 11月1日 『A CUBIC』 取扱い開始



A Asian Products
A Appropriate Quality
A Attractive Price

アジア製品
適正品質
魅力的価格

2. WEB(EC)販売対応(2012年度中の完成を目指す)

- ・ 『A CUBIC』の商品開発と連動し、WEB(EC)販売対応を構築

3. 既存ロングテイル顧客の再開拓

- ・ 専属営業を配置し集中開拓
- ・ 新規商材の投入と連動

15. 新規事業分野

1. MDMS(※)の新規分野の開拓(環境・医療)

- ・ 今下期の開発案件によりQ4以降の業績寄与を目指す(本格寄与は来期)
- ・ 医療等の分野への新規参入
内外エレクトロニクス株式会社 福島事業所 『医療機器製造業』認可取得
(2012年10月9日 福島県知事 許可番号07BZ200040)
メディカル事業部を設置し、モニタリング機器等の製造準備開始

2. メンテナンス領域の拡大(環境、改造)

- ・ マレーシアのアライアンス先にて装置メンテナンス開始
- ・ 今後もメンテナンス機種及び地域の拡大を目指す(提携先への技術供与検討)

(※) MDMS(Mechatronics Design & Manufacturing Services)

本日はありがとうございました。

- ・ 本資料はH24年3月期決算及びH25年3月期の予想及び今後の経営戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・ 本資料に記載された意見、計画、予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その実現・達成を保証、約束するものではなく、また、その情報の正確性、完全性を保証、約束するものではありません。
- ・ 本資料に記載された内容は、予告なしに変更されることがあります。